



# ふじみ

学校ホームページ <http://higashimurayama.ed.jp/e15-fujimi/>

令和7年4月7日発行  
東村山市立富士見小学校  
〒189-0024 富士見町 5-4-57  
Tel 042-391-8194  
校長 戸崎 晃

本校校長として2年目を迎えました戸崎晃(とさきあきら)です。目指す学校像「児童に 保護者に 地域に 教職員に 笑顔を生み出す学校」の実現に向け、今年度も引き続き富士見小に皆様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 笑顔は力!

校長 戸崎 晃

本日、94人の新1年生を迎え、全校児童527人、全17学級で今年度の教育活動が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様の御入学・進級、誠にありがとうございます。

下記の教育目標の下、今年度も子供たちの健やかな成長のため、保護者の皆様、地域の皆様、学校教職員で一つとなり、同じ方向性をもって教育活動を推進したいと考えております。皆様の格段の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

### 【富士見小学校の教育目標】

- すすんでやる子 …自ら考え、学び、行動する姿勢・意欲・態度の育成
- かんがえる子 …変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な資質・能力の育成
- おもいやる子 …豊かな心を持ち、多様な人々と共に生きる人間の育成
- がんばる子 …自己を理解し、心身の健康・安全を創る意識と実践力の育成

高校野球の甲子園。私はプレイする選手の姿を見るのが好きで、毎年できる限りテレビ中継を見ている。ここ数年、見ていてこれまでとは違う感覚を覚えたことがあります。

最終回9回の裏ツーアウトランナーなし。あと1アウトで試合終了。打席に立つ仲間に向かって、叫ぶように応援するベンチの選手たち。涙を流し、目を真っ赤にしながら、終わりがたくないという思いを声にする選手たち。…私自身もそうでした。そんな姿を、これまで幾度となく見てきました。そして、それは高校球児の当たり前だと思っていました。しかし…。

私はある試合で、選手たちの姿を見て、驚き戸惑いました。場面はやはり最終回ツーアウトランナーなし。

し。テレビ画面に映し出されたベンチの選手たちは、みんな笑顔で笑っていました。それは、無理に作ったものでなく、自然体で心のままに溢れ出ている笑顔でした。

打席に立ったバッターは、ともすれば自分が最後のバッターになるかも知れない状況の中で、初球を打ちにいきました。そのスイングは迷いがなかったものでした。そのチームは、その後、逆転サヨナラで勝ちました。

高校野球では、最近は逆境でも笑顔でプレイする姿が見られるようになったと言われます。実際、アウトになってうつむいて帰ってきた選手を仲間が笑顔で迎える姿や、逆転を許したのに笑顔で守備から帰ってくる姿も見られます。ピンチでも笑顔でいることで、平常心につながり、能力を発揮できるのだということも聞いたこともあります。ある選手は、「笑顔こそ、精神力の強さだと感じている。前向きな気持ちで実力を発揮したい。」と話しています。

笑顔でいること、それはその人自身の能力を発揮させるだけでなく、周りの人にも力を与えるのではないだろうか…、と思っています。

私は、教員として3年目、学級担任だった頃、次のように考えたことがあります。

子供のために懸命にやってきたけれど、私はともすればいつも何か陰い表情で不機嫌そうではないだろうか。子供たちにとっていい担任なのだろうか。子供たちは楽しく過ごすことができているのだろうか。

子供たちの笑顔が私たち大人の力になるように、私たち大人の笑顔が、子供に安心を与え自己の力を充分に発揮するために必要なのではないだろうか。

そういえば、子供の頃、親が明るく笑っている姿を見るとなぜか安心できた…。

笑顔は力! 私たち大人の笑顔が子供の健やかな成長の要であることを心に、大人も子供も笑顔で過ごせる富士見小でありたいと思っています。